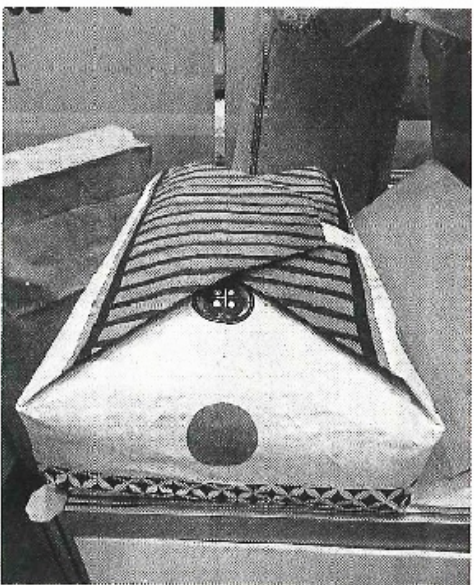


# 包材コスト50%低減

## シコ「お米宅配袋」利用提案

大手宅配便3社から始まった宅配料金の値上げは、コメ直売生産者や販売業者の商品発送に影響を及ぼしている。包装容器メーカー・シコー(株) (本社・大阪市北区)の西日本事業部香川営業所(坂出市昭和町)は、東



宅配便値上げに朗報

京ビッグサイトで開催された国際総合包装展「TOKYO PACK2018」(2018東京国際包装展)で「お米宅配袋」を提案した。

コメ25キ・30キ用共通の宅配袋で、コメ25キ袋・30キ袋を入れて折り畳

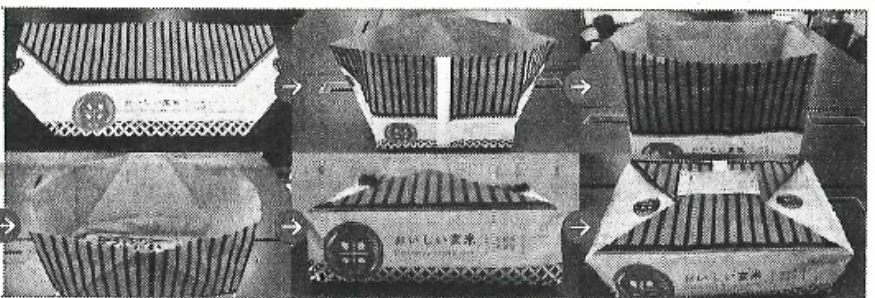
んでいくと「米蔵」のような形が完成する。受けた人が思わず取っておきたくなるような斬新なデザインだ。精米商品の集積包装としても対応可能という。仕様は、▽クラフト2層構成▽仕上

450mm×縦幅950mm×底幅380mm。

お米宅配袋はダンボールよりも軽いため、梱包作業もスムーズに行える。販売価格は1袋当たり100円(送料込み・税別)だが、北海道・沖縄および離島は1袋当たりの10円高の設定。受注ロットは100袋単位で、代引き発送される。

ホームセンターでコメ25キ・30キ袋の発送に使用するダンボールケースは約200円するが、1枚100円のお米宅配袋を使用することで50%コストダウンできる。お米宅配袋を100枚積み重ねても置き場所をとらない。ダンボールケース100枚と比べて10分の1の高さのため、保管スペースが90%減少する。廃棄物量も75%カットできる。

便の料金が値上がりしている現在、コメの発送包材を従来のダンボールケースからお米宅配袋に置き換えた包材コスト削減をアピールした。担当者は、「コメ生産者による使用頻度が高まっている」と語っていた。



### 梱包作業もラクラク!

ダンボールより軽いので作業もスムーズです。

出展ブースでは、宅配

梱包手順